



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和 8年 4月 28日

企業・団体名 株式会社 アイベック

代表者名 代表取締役 東出 悦子

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和7年4月1日（宣言日又は令和7年4月1日）～令和8年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 社会インフラの維持管理の効率化に貢献する</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none">・協力会社とパートナーシップを結び、技術力向上のため、出向者を受け入れ技術交流を図った。・社会インフラの安全を確保するため、電磁波レーダを使用した道路の空洞調査をおこなった。・水力発電や風力発電等の再生可能エネルギー発電施設の点検を実施し、クリーンエネルギーの安定供給に寄与した。
2	<p>【目標】 環境負荷の低減と持続可能な調査・点検手法の推進に貢献する</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none">・デジタルX線撮影装置を導入し、現像剤等の化学薬品および鉛箔増感紙の使用量を削減した。これにより、廃棄物の発生抑制および環境負荷の低減を図っている。
3	<p>【目標】 IoT技術で社会インフラの維持管理や都市計画に貢献する</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none">・センサーによるモニタリングを活用して、社会インフラの劣化や異常を検出し、維持管理の効率化を図った。・水位センサーで豪雨や台風などによる河川の増水・氾濫の危険箇所を監視し、災害対策など都市計画に役立てている。・AI画像解析による交通量調査を行い、都市計画のデータとして活用している。
4	<p>【目標】 健康経営で社員がやりがいをもっていきいきと働ける環境をつくる</p> <p>【実施状況】</p> <p>DXの推進や業務の効率化、業務分担の見直しにより、昨年比で延べ4,774時間の時間外労働削減を実現し、社員の健康維持と長時間労働の抑制につなげている。</p> <ul style="list-style-type: none">・有給取得率が、2022年88.3% 2023年89.3% 2024年 83.0% 2025年88.3%であった。総じて高水準を、継続していく。・年間休日は、2023年 113日、2024年 115日、2025年117日と年2日ずつ増加している。・ストレスチェックの対象全員の100%受検。・メンター制度を見直し、メンティ1名にに対し2名のメンターを設置、月1回の面談日を設定。

※宣言日（ウェブサイト掲載日）から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。